

多久市在宅介護支援センター

天寿荘だより



令和元年 12月号 No.346

師走を迎え、なにかと慌ただしい毎日となりました。
12月は火災が多くなる時期です。日頃から火の始末に十分気をつけましょう。初期消火が大切。まず火災を見つけたら、近隣の方や住人にいち早く知らせましょう。すぐに消火できず、火が広がってしまう可能性もあります。小さな火でも消防車を呼ぶことが大切です。出火から3分以内が、消火できる限度だそうです。天井に火がうつったり、自分の手に負えない場合は迷わず逃げましょう。逃げる際は扉などを閉め、火に空気が入らないようにすることも重要です。消火器だけに頼らず、座布団で火を叩く、濡れた毛布で火を覆うなど、身の回りで使える消火方法をおさえておきましょう。



【11月の活動件数 89件】

●申請手続き代行		●訪問・相談業務	
・食の自立支援(配食)	1件	・高齢者実態把握	0件
・生活管理指導員派遣	0件	・医療・介護に関すること	86件
・生活管理指導短期宿泊	0件	・その他	2件
・緊急通報システム	0件		
・紙おむつ支給申請	0件		

介護や生活の上でお困りのことがあれば、
いつでもご相談ください。

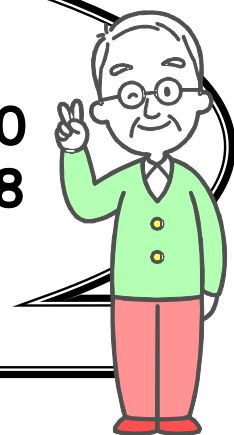
天寿荘

天寿荘在宅介護支援センター

坂井賢一 村島勲 納富敦子 尾形ひとみ

電話74-3100

直通74-4818



【火事の対処法】

- 油なべ…慌てて水をかけるのは危険です。水が飛び跳ね火傷したり、燃えた油が飛び散り火災が大きくなる可能性もあります。まずは消火器を吹きかけて消火しましょう。消火器がなければ、濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断します。空気の遮断により消火することができます。
- 石油ストーブ…真上から一気に水をかけて消火しましょう。斜めに水をかけると石油が飛び散って危険です。石油が流れて広がっている場合は、大きめの濡れた毛布などでまず燃えているストーブを覆い、空気を遮断します。その上から水をかけて消火しましょう。
- 電気製品…いきなり水をかけると感電の危険があります。コードをコンセントから抜いて消火しましょう。できればブレーカーも落としてから消火しましょう。
- 衣類…衣類に火がついてしまったら、周りに水があれば水をかぶって消しましょう。ない場合は、地面に転がって燃えている部分を押し付けて消すのがよいようです。髪の毛が燃えてしまったら、濡れた衣類やタオルなどを頭からかぶって消火しましょう。
- カーテン・ふすま…カーテンやふすまなどに火が燃え広がったら、すぐに引きちぎったり、蹴り倒すなどして、火元を天井から遠ざけます。その上で消火をしましょう。

消火器の使い方

(1)安全ピンに指をかけ、上に引き抜く。



(2)ホースを外して火元にむける。



(3)レバーを強くにぎって噴射する。



構え方

1. 火の風上に回り、風上から構える。
2. やや腰をおとして低く構える。
3. 熱や煙を避け、炎には真正面から向き合わない。
4. 炎を狙うのではなく、火の根元を掃くように左右にふる。

